



市教委だより



サトイモ掘ったぞ

竹島小学校の1・2年生20人が、11月7日(水)、市内平野地区においてサトイモの収穫を体験しました。

前日の雨で少し緩んだ畑に到着すると、子供たちの背の倍ほどもあるサトイモと一緒に生産者の皆さんが出迎えてくれました。



収穫の仕方について説明を受けると、全員で一斉に茎を引き抜き、出てきた里芋の根や土を一つ一つ丁寧に落しました。

土にまみれながらの作業では、楽しい中にも大変さを実感し、作業後にご馳走になったサトイモに収穫の喜びを感じ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

この農業体験交流学習は、学校給食センターに農作物を納めてもらっている生産者グループのご協力により行われているもので、今後も食教育の一環として続けていきたいと考えています。



『しめ縄作り』と『餅つき』

お正月には自分で作ったしめ縄を飾り、自分でついた餅を食べる。…昔から伝わるお正月の準備をしませんか。四万十楽舎では、西土佐のおじいちゃんが優しく教えてくれます。

四万十楽舎の 工芸教室



日 程：12月20日(木)～21日(金) *2日間のスケジュールです。
(夜には特性猪の味噌漬などの夕食があります)

場 所：四万十市西土佐中半 西土佐環境・文化センター四万十楽舎

定 員：先着20名限定

その他：参加費が必要です。

申し込み・問い合わせ先：西土佐環境・文化センター四万十楽舎 ☎(54)1230



山を学ぶ、自然を学ぶ

後川中学校では、2004年度より「総合的な学習の時間」を活用し、高知県森林環境税を活用した、「山の学習支援事業」に取り組んでいます。

初年度には、テレビ会議システムを導入、高知市内校との実践・意見交流を契機に、岩田川や四万十川の水生生物調査や水質検査、地域の人に学ぶ竹細工などの物作り体験、幡多林業事務所による森林環境学習や学校周辺の植生調べ、また学校林視察なども行ってきました。

例年秋には、山・川・海のつながりの中で、自然の果たす役割や環境保全に対する認識を育てようと、砂浜美術館(黒潮町)や黒潮実感センター(大月町)、愛媛県松野町のおさかな館を訪ね学習を重ねてきましたが、今年は、11月9日に、宇和海と黒尊溪谷を一望できる八面山(1,165m)登山を実施しました。

当日は、さわやかな晴天のもと、眼下に広がる西海地域や遠くの山並みを望みながら、登山口から約40分ほどで山頂に立つことができました。その後、ブナの原生林を目指しましたが、道沿いには、クイズ形式の樹名板が設置され、さまざまな樹木について学習することができました。

ブナ林の中では、四万十川森林環境保全ふれあいセンターの人からパネルを使って「森のしくみ」や「土壌の作られかた」の説明を受けたり、顕微鏡で土の中に住む小生物の観察をするなどして、豊かな森が環境を守り、私たちの暮らしに大きく影響していることがよく理解できました。

自由時間には、ブナの木の室に入り写真を撮ったり、用意してもらった手作りブランコを楽しむなど、雄大な自然の懐で秋山と自然の素晴らしさを満喫した一日となりました。

また12月には、端材を利用した木工クラフト作りも計画しており、これらの取り組みは、後川中学校の霜月祭(文化祭)やホームページで紹介する予定です。



山に登るのもいいけど植林をしてみたいです。今は地球温暖化なので、木を増やして二酸化炭素を減らしてほしいので、植林の授業もいいかな。

初めて高い山に登った。山の上からの風景は格別でした。学校じゃめったにないことだから嬉しかった。

山の木はシカの食害で、どんどん減っていたそうだけど、木を植えたり柵を作ったりして、食害を防ぐことはとても大切なことだ。八面山は土がとてもやわらかくて、クッションみたいになっているので、木や虫がちゃんと働いているんだな。



マリンバ公演



教育委員会西土佐事務所では11月13日(火)～15日(木)の3日間にかけて、公共ホール音楽活性化事業を行いました。

この事業は、地域においてクラシック音楽を身近なものにするためアーティストが数日間滞在してコンサートやアクティビティ（地域との交流を図るプログラム）を実施するもので、今回は、マリンバ奏者の大熊理津子さんをお招きして開催しました。

アクティビティは13日と14日の2日間で、6校の小学校を対象に4箇所で行いました。大熊さんによる曲の演奏やマリンバの構造の説明があったほか、子どもたちが演奏にあわせて鳴子でリズムを取りながら一緒に歌を歌ったりしました。

子どもたちは、最初は初めて見るマリンバの奏でる音に驚き圧倒されていましたが、大熊さんの楽しく分かりやすいお話のおかげで徐々にリラックスすることができ、楽しくクラシック音楽について学ぶことができました。

15日の夜の西土佐ふれあいホールで行なわれたコンサートでは、170人もの観客がマリンバの演奏を楽しみました。

ハロウィン・バッシュ



10月27日(土)にふれあいホールでハロウィン・バッシュが行われました。

この事業はALTのメアリーさんが企画し、地元青年団の協力を得て開催され、保育所年中組から小学校6年生までの93人が楽しみました。

子どもたちはそれぞれが仮装をして参加、その参加者全員の仮装コンテストが行われました。また、ふれあいホールの楽屋や舞台を利用してホーンテッドハウス（お化け屋敷）が作られていて、子どもたちは大喜びでした。中には、泣き出す子どもや隠れていたオバケを退治した勇敢な子どももいました。最後に子どもたちは「トリック・オア・トリート」の掛け声でお菓子をもらいました。

※1 ハロウィン…英語圏の伝統行事 ※2 バッシュ…にぎやかなパーティ
 ※3 トリック・オア・トリート…「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ」という意味のハロウィンのときだけに通じる楽しい合言葉

人形劇

11月8日(木)西土佐ふれあいホールで西土佐地域の保育所を対象とした人形劇の公演がありました。

この人形劇は県教育委員会による「こどもの文化浴事業」として開催されたもので、人形劇団おすび座の皆さんによる『こぶたのぶうぶはこぶたのぶうぶ』と『おたまじゃくしの101ちゃん』の2作品が上演されました。

園児たちは、まるで生きているかのように動く人形を、目を輝かせながら見入っていました。



バレエ公演

11月5日(月)川崎小学校体育館で法村友井バレエ団のバレエ公演が行われました。

この公演は、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」の一環として行われたもので、川崎小学校と西土佐中学校の生徒などが鑑賞しました。

プログラムは3部構成となっており、第1部ではバレエ団の公開レッスン。第2部では有名な作品のハイライトシーンが上演されました。また、第3部では、名作「くるみ割り人形」の第2幕が上演され、子どもたちは華やかな衣装を着たバレエ団員の踊りにうっとりしていました。



ご質問・ご意見をお寄せください

(市) 教育委員会 学校教育課
 西土佐事務所
 四万十市公式ホームページ

TEL (34) 5445 FAX (34) 4271
 E-mail : school@city.shimanto.lg.jp
 TEL (52) 1110 FAX (52) 1446
 E-mail : n-school@city.shimanto.lg.jp
 URL : http://www.city.shimanto.lg.jp/